

令和7年度（2025）公益信託鉄道保線振興基金（保線ノーベル賞）顕彰者

公益信託鉄道保線振興基金（保線ノーベル賞）の令和7年度（2025年度）の表彰式・祝賀会が、3月12日（木）に東京・丸の内の東京ステーションホテルで執り行われ、令和7年度の顕彰者として5名の方が受賞の栄に浴されました。いずれの方も現在及び過去において当協会の普通会员及び特別会員の会社に所属されていた皆様です。

心からお慶び申し上げます。

同賞は、保線技術の維持と発展に多くの功績を残すとともに、その技術を保線分野で発揮された技術者に贈られています。平成4年（1992年）6月に、運輸大臣（当時）の認可を得て基金が設立され、平成5年度（1993年）から表彰を続けており、これまでに125名の方がこの栄に浴されています。

鉄道保線振興基金表彰受賞者

※年齢は2026年3月末

